

感染症拡大防止に 風邪症状での医療機関のかかり方



おねがい

- # 「新型コロナ相談窓口」に電話相談すると、担当者から症状の経過や持病の有無などを詳細に質問されます。
- # その上で担当者が、受診が必要かどうか判断し、受診する場合は指定専門病院とかかりつけ医療機関のどちらがふさわしいかを判断します。担当者の判断と指示にしたがって行動してください。



- # 受診する場合は、医療機関に種類に関係なく、**事前に必ず電話連絡をして相談**をしましょう！**直接受診されると感染拡大のリスクとなります。**たとえ咳やくしゃみがなくても必ずマスクをつけてください。また、担当者から指示された医療機関以外には決して受診しないでください。



- # マスクがどうしても手元にない場合には、**受診される前に事前に必ず電話連絡**ください。
- # マスクは医療機関でも枯渇している状態にて、仕方なくハンカチなどで手作りをして皆、自分用に各自努力をしている状態です。

注！マスクは正しく装着しましょう！



- # 診察前には、特に小児の患者さんにジュースや食べ物を極力与えないようにしてください。診察時に嘔吐し、感染を拡大させるリスクとなります。



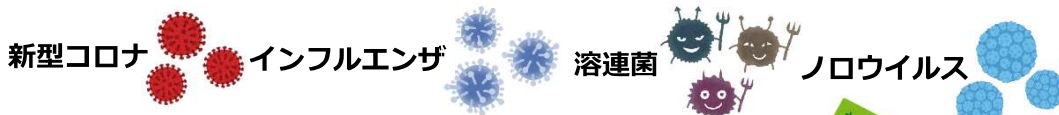
- # 風邪症状の患者さんは、電話対応もしくは、隔離しての対応＆診察となりますので隔離する準備ができるまで車などでの待機をお願いすることもありますのでご協力ください。

電話で事前に必ず確認したいこと：場所や症状の程度で自己判断せずに必ず報告願います。

- # 本人や同居家族の発症2(~4)週間以内での県外・国内外の流行地域を含めた移動・渡航歴の有無



- # 周囲の流行疾患や発熱患者との接触の有無、新型コロナウイルス感染者との接種歴



- # 現在、治療中の病気の名前と薬の内容の書いた薬情・お薬手帳持参



風邪症状での医療機関受診に関して

風邪症状が軽い、早期のとき

- # 普通のかぜも新型コロナウイルス感染症も、症状が出てから最初の数日（1～4日）は区別が付きません。
- # 症状が出てすぐに受診しても、インフルエンザも新型コロナウイルスなどの感染を診断することも、違くと診断することも困難なのです。
- # 通常の診療所や病院では、新型コロナウイルスの検査はできません。仮に新型コロナウイルスと早く診断できたとしても、肺炎になったり重くなるのを防ぐ治療薬などありません。
- # 症状や問診だけやPCRの診断結果が陰性であろうと、新型コロナではないという診断書をお出しすることはできません。感度は70%程度。
- # また、新型コロナウイルス感染症の大半は風邪のような軽い症状のまま自然に治ってしまいます。
- # そもそもインフルエンザの迅速検査は、悪寒、発熱、関節痛、鼻炎、咳などの症状が出現して、24～48時間経過で最大感度60%ほどでしかありません。
- # 新型コロナウイルスはエアロゾル感染というものを起こすとされます。現在、一般の診療所や病院では感染拡大のリスクがあるためにインフルエンザや溶連菌、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなどの検査は実施しないことを推奨しています。
- # もし、迅速検査を実施する場合には、N95マスク、ガウン、フェイスシールド、グローブの感染予防装備をしたうえでの実施が必要となりますが、一般の医療機関には現在、入らない状態となっているのが現状です。
- # 病院などで行うネブライザーなども感染拡大のハイリスクとなるため、必須治療でない限りはしないようにすべきとされています。
- # ハイリスクの方の場合には、症状や咽頭所見などで臨床的インフルエンザとして迅速検査なしで総合的に診断してタミフル®を処方することもあります。
- # 風邪症状がある時に外出したり受診すると、外出先や待合室で感染を広めるおそれがあります。そのため、風邪のような症状が出ても、最初の数日間は受診せず、仕事や学校をできる限り休んで外出を避け、自宅療養してください。



- # 自宅療養の期間は、一般の方は4日間。ご高齢の方、持病がある方、妊娠中の女性は2日間です。



- # 自宅療養中は、1日数回体温を測り、手帳やノートに体温と測った時間を記録してください。
- # 自宅療養に不安があるときは、感染症の知識のある医療機関やかかりつけ医などでまず電話で経過を伝え、アドバイスをもらうようにしてください。

